



# 東京都の経済情勢報告

令和 7 年 1 月 30 日  
財務省関東財務局  
東京財務事務所

※掲載した経済指標等については速報値を含む。

## 1. 総論

### 【総括判断】「都内経済は、回復しつつある」

項目	前回（6年10月判断）	今回（7年1月判断）	前回比較
総括判断	回復しつつある	回復しつつある	→

（注）7年1月判断は、前回6年10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

#### （判断の要点）

個人消費は、回復しつつある。産業活動は、緩やかに回復しつつある。雇用情勢は、改善している。

#### 【各項目の判断】

項目	前回（6年10月判断）	今回（7年1月判断）	前回比較
個人消費	回復しつつある	回復しつつある	→
産業活動	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	→
製造業	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	→
非製造業	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	→
雇用情勢	改善している	改善している	→
設備投資	6年度は増加見込みになっている	6年度は増加見込みになっている	→
企業収益	6年度は減益見込みになっている	6年度は増益見込みになっている	↗
企業の景況感	現状判断は、「上昇」超幅が拡大	現状判断は、「上昇」超幅が拡大	→
住宅建設	前年を下回っている	前年を上回っている	↗

#### 【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、回復が続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、アメリカの今後の政策動向、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「回復しつつある」

百貨店販売額、スーパー販売額及びコンビニエンスストア販売額等は前年を上回っている。また、宿泊や飲食サービス等については、回復しつつある。このように、個人消費は、回復しつつある。

#### (主なヒアリング結果)

- 10月は暖かい日が続いたこともあり、婦人服や紳士服といったアパレルが売上げを押し下げたが、11月以降は気温の低下とともに秋冬物のシーズン商品が活発に売れ始めた。また、インバウンド需要は旺盛で、国内富裕層の消費も増加しており、ラグジュアリーブランド、宝飾品、時計などの高額品の販売が引き続き好調となっている。一方で、富裕層と中間層の二極化が進んでおり、個々人の中でも、日用品に対する節約志向と価値のあるものにはしっかりとお金をかけるといったメリハリのある消費が伺える。(百貨店)
- 食料品の値上げによる客単価上昇に加え、各種販促効果もあり、売上高は前年を上回っている。一方で、商品の値上げによる節約志向の高まりで、一人当たりの購入点数は前年を下回っている。(スーパー)
- 物価高に伴う節約志向が継続しているものの、商品価格の見直しや人気キャラクターとのコラボ商品など販促活動を実施した結果、消費者の来店誘因につながり、客数、売上げとも増加した。(コンビニエンスストア)
- 10月は残暑が厳しく、ハンドクリームやリップクリームといった季節商品の売れ行きが遅れたが、11月に入り気温が低下し、空気が乾燥することで風邪薬やマスク、ハンドクリーム等の商品が売れ始めた。また、駅前店舗を中心にインバウンド需要が好調であるが、インバウンドの売上高はコロナ禍前と比較して約7割の水準にとどまっている。(ドラッグストア)
- 宿泊部門では海外からの需要が増加しており、海外客は滞在期間が長く利益率に貢献しているため、客室稼働率、客室単価とも上昇している。(宿泊)
- インバウンド需要の拡大を背景に、都心部や観光地の店舗では客数が増加しており、価格改定効果も加わるなど、売上げは前年を上回っている。一方で、長引く物価高の影響で節約志向やメリハリ消費も顕著になってきている。(飲食サービス)

#### ■ 産業活動 「緩やかに回復しつつある」

製造業は、情報通信機械等で増産となっており、緩やかに回復しつつある。非製造業は、卸売業等でやや弱い動きがみられるものの、緩やかに回復しつつある。このように、産業活動は、緩やかに回復しつつある。

#### (主なヒアリング結果)

- 生成AIなどの先端製品の需要が急増していることから、半導体製造装置用部品の生産は7月以降、高い稼働率を維持している。(情報通信機械)
- 工作機械関連では人手不足の影響を受けて、省人化・自動化投資が増加しているものの、自動車関連の回復は当初の想定ほど進んでいないことから、受注状況は業種によって濃淡がある。(生産用機械)
- 年末年始の売上高は増加しているが、仲卸業者や量販店との取引が多く、価格交渉が難航しているため、10-12月期では売上げ、利益とも前年から減少している。(卸売)
- 航空物流と海運物流は、販売単価や取扱数量が回復しており、売上げは増加している。一方で、移転事業は大型事務所の移転が減少しているため、売上げが減少している。(陸運)

#### ■ 雇用情勢 「改善している」

有効求人倍率は概ね横ばいの動きとなっており、完全失業率は低下している。このように、雇用情勢は改善している。

#### (主なヒアリング結果)

- 人手不足は依然として深刻で、特に清掃スタッフが不足している。そのため、一部の店舗では客室数を制限するなどの機会損失が発生している。(宿泊)
- 店舗では、社員、パートとも不足しており、スポットワーカーの活用や外国人人材の採用強化などの取り組みを行っているが、今後も人手不足が続く見通し。(飲食サービス)
- 倉庫内の作業は慢性的に人手が不足しており、解消策の一環として、午前と午後のシフト制を導入し、効率的に働きたい人たちとのマッチングを図っている。(陸運)

#### ■ 設備投資 「6年度は増加見込みになっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」6年10-12月期

- 6年度の設備投資計画は、製造業では前年比26.1%と増加見込み、非製造業では同13.3%と増加見込みになっており、全産業では同17.3%と増加見込みになっている。

#### ■ 企業収益 「6年度は増益見込みになっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」6年10-12月期

- 6年度の経常利益は、製造業では前年比▲2.8%と減益見込み、非製造業では同4.9%と増益見込みになっており、全産業では同2.5%と増益見込みになっている。
- これを規模別にみると、大企業、中小企業では増益見込み、中堅企業では減益見込みとなっている。

#### ■ 企業の景況感 「現状判断は、「上昇」超幅が拡大」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」6年10-12月期

- 企業の景況判断BSIは、「上昇」超幅が拡大している。先行きについては、「上昇」超で推移する見通しとなっている。

#### ■ 住宅建設 「前年を上回っている」

- 新設住宅着工戸数をみると、貸家は前年を下回っているものの、持家、分譲住宅は前年を上回っており、全体として前年を上回っている。

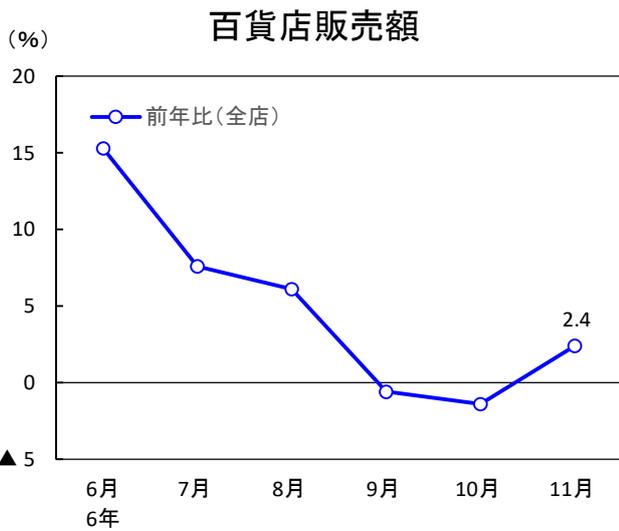
# 東京都の経済情勢報告

## 資料編

※掲載した経済指標等については速報値を含む。

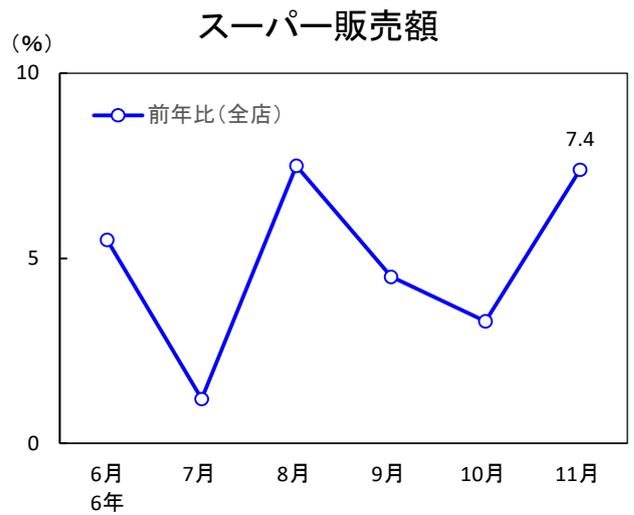
# 1. 個人消費

【グラフ1】



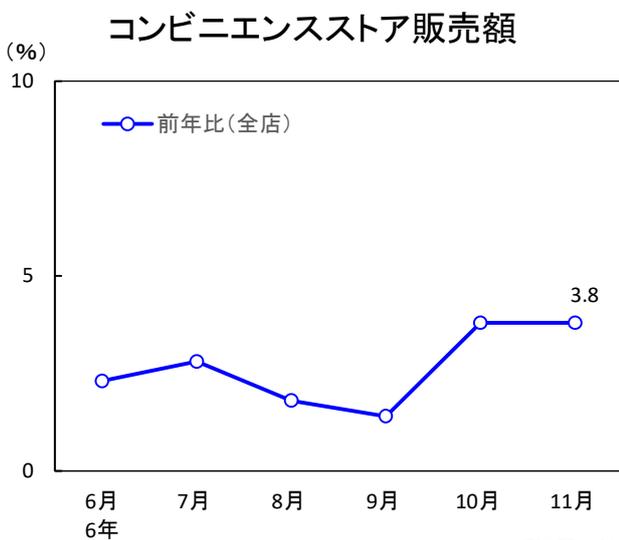
【経済産業省】

【グラフ2】



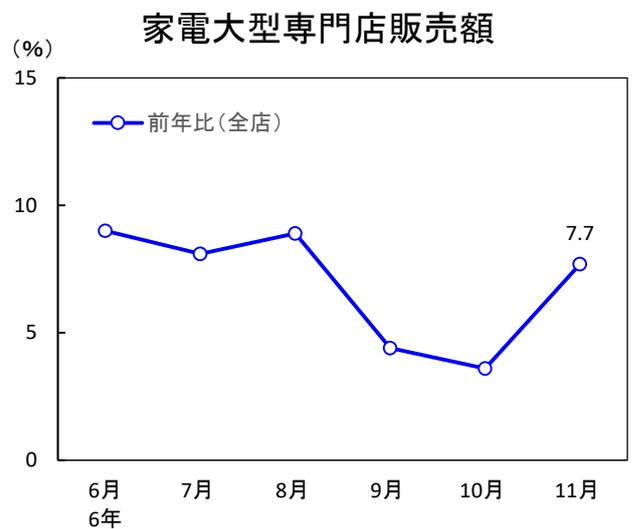
【経済産業省】

【グラフ3】



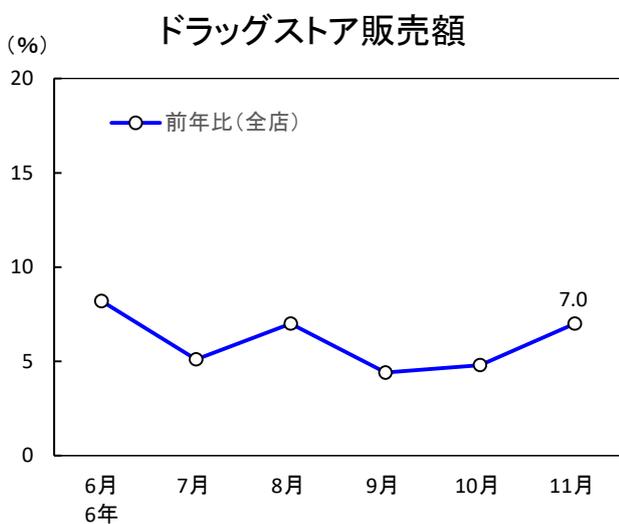
【経済産業省】

【グラフ4】



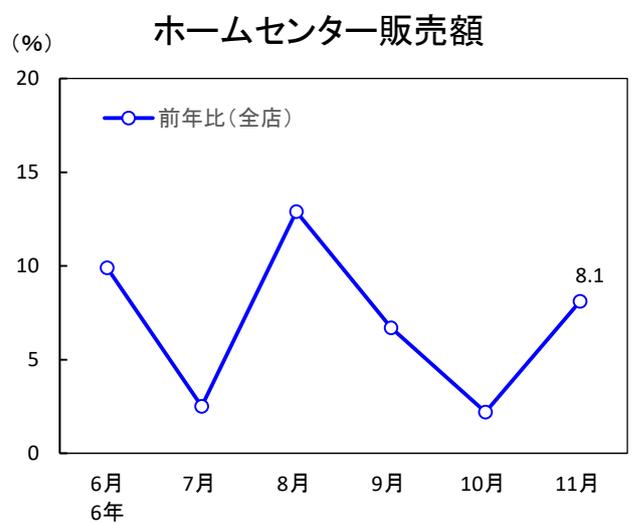
【経済産業省】

【グラフ5】



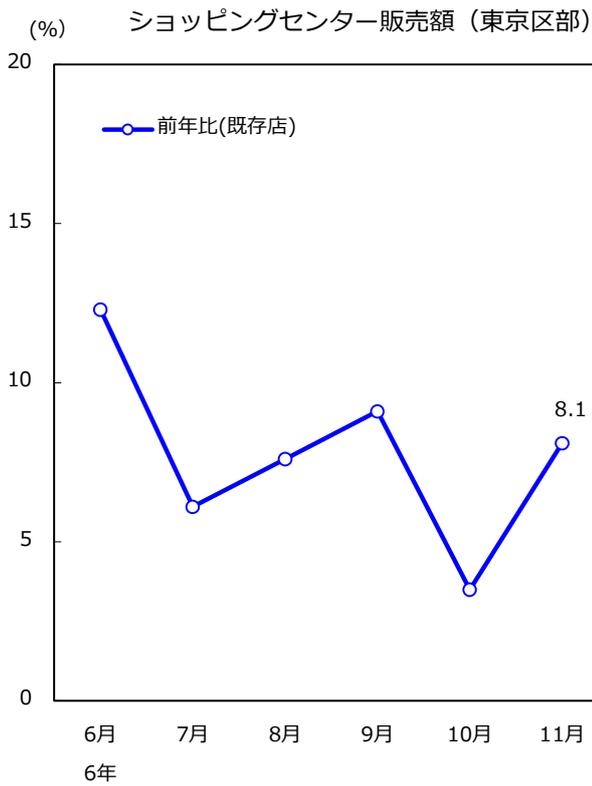
【経済産業省】

【グラフ6】



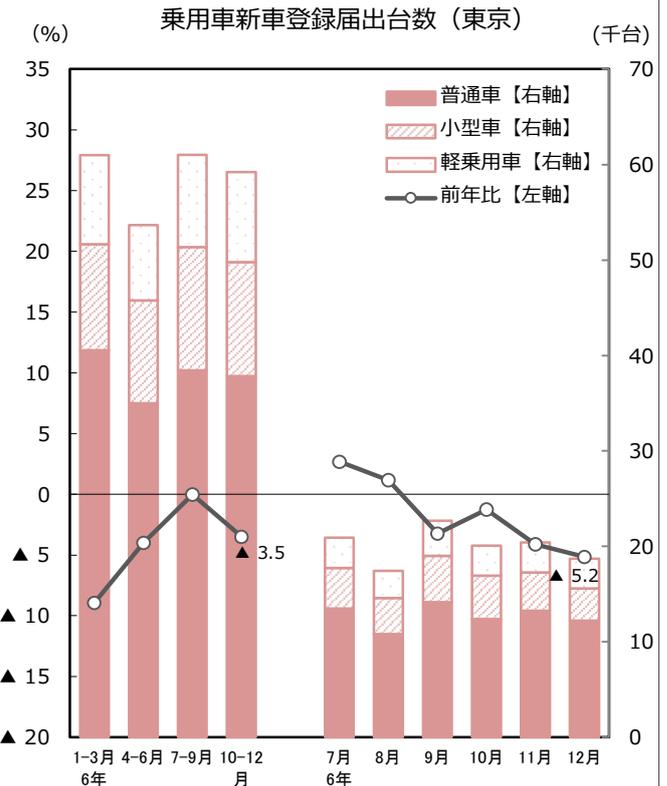
【経済産業省】

【グラフ7】



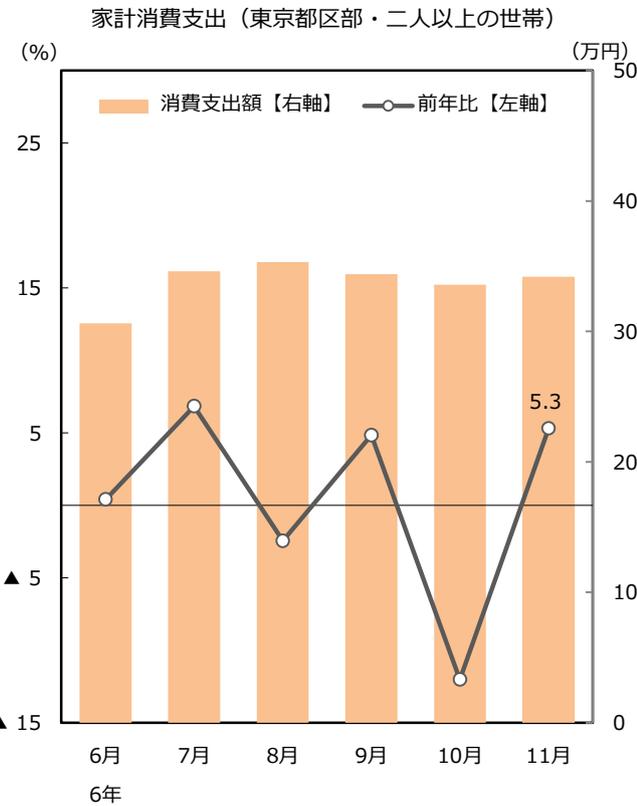
【日本ショッピングセンター協会】

【グラフ8】



【日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会】

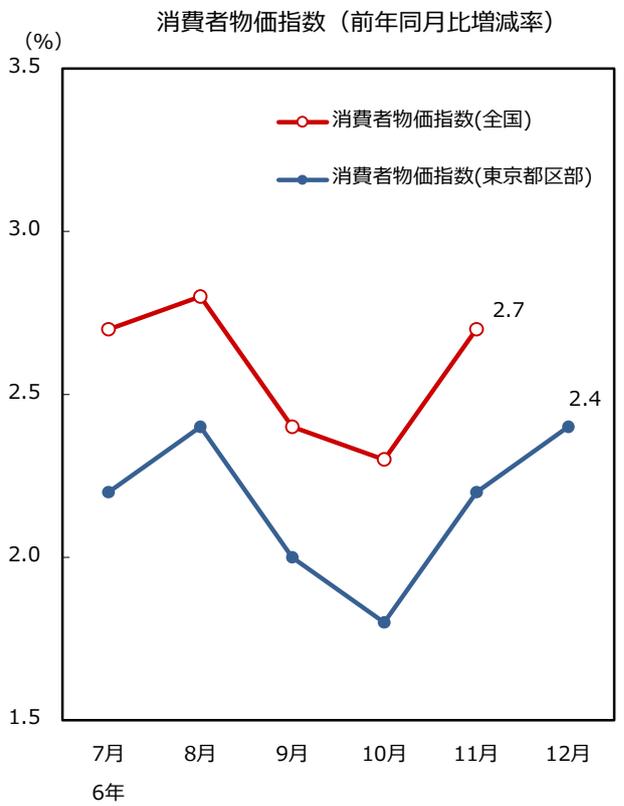
【グラフ9】



※農林漁家世帯を含む。

【総務省】

【グラフ10】



※生鮮食品を除く総合

【総務省】

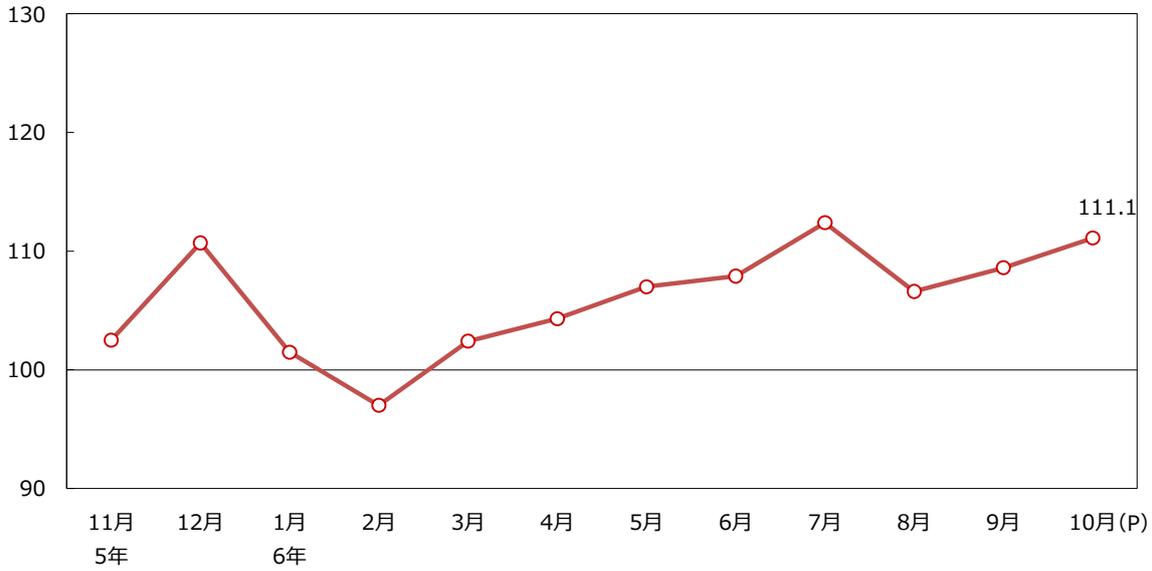
## 2. 産業活動

※ P は速報値

【グラフ11】

(指数) 令和2年 = 100

### 東京都工業指数（季節調整値）

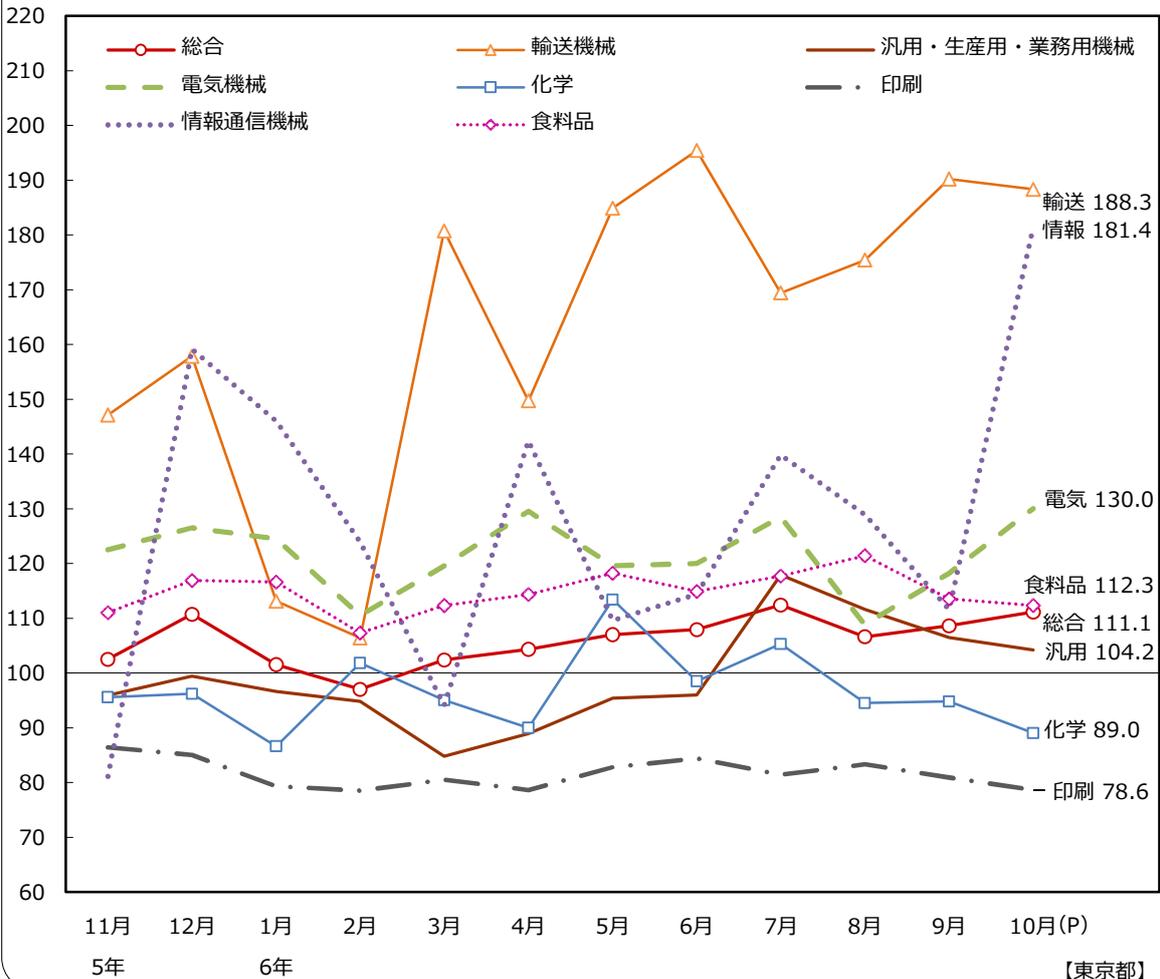


【東京都】

【グラフ12】

(指数) 令和2年 = 100

### 工業生産指数（業種別・季節調整値）

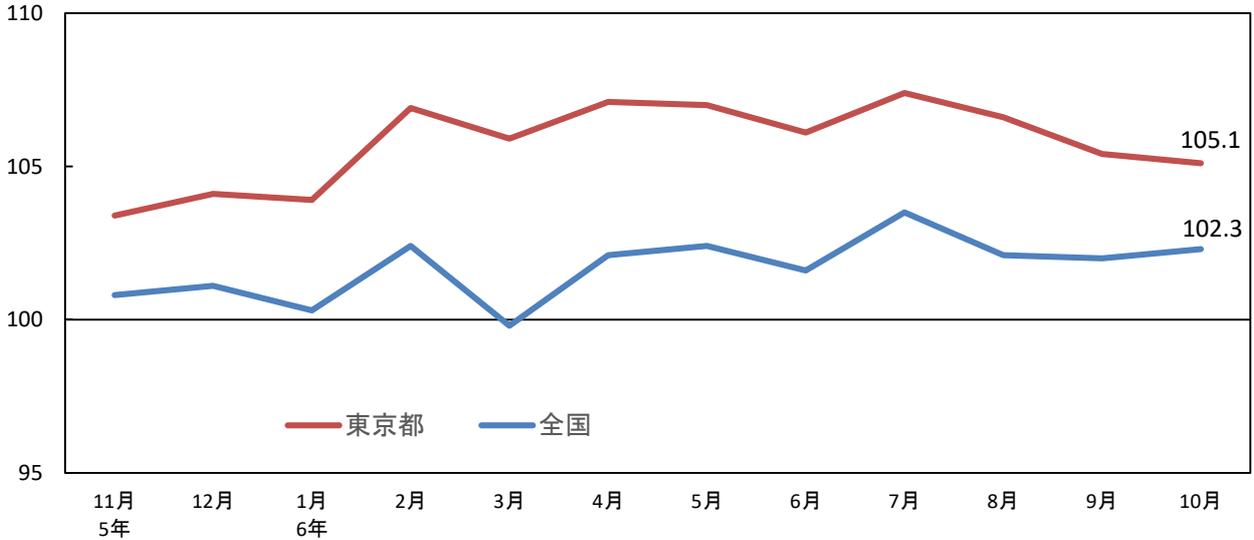


【東京都】

【グラフ13】

### 第3次産業活動指数(季節調整値)

(指数) 平成27年=100

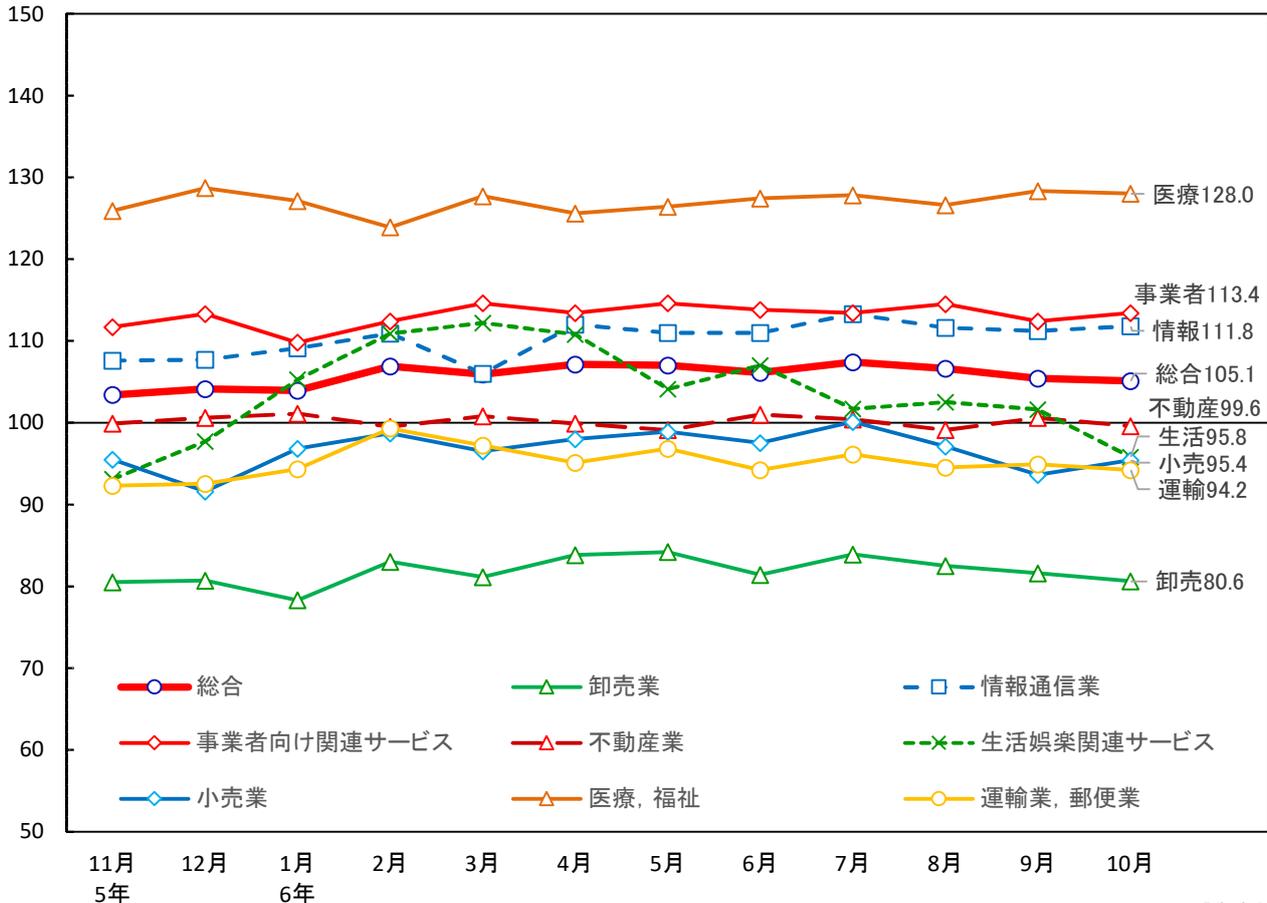


【経済産業省、東京都】

【グラフ14】

### 東京都第3次産業活動指数(業種別・季節調整値)

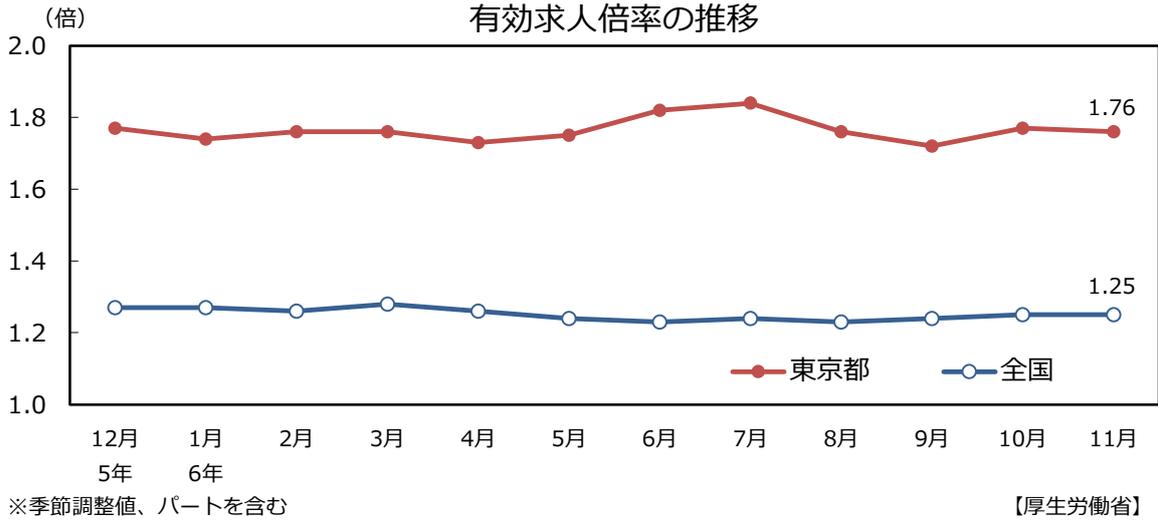
(指数) 平成27年=100



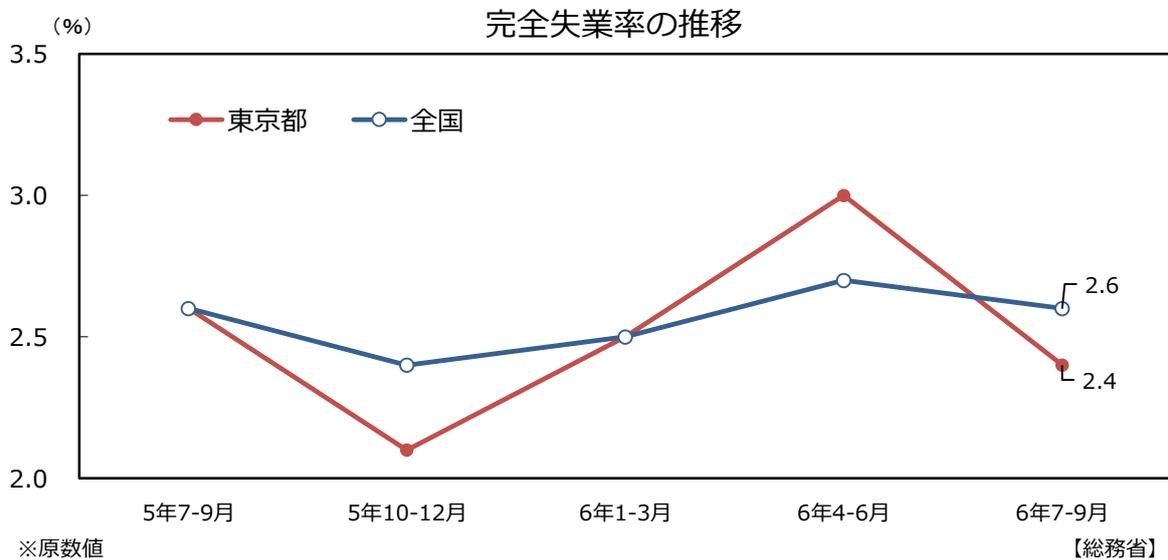
【東京都】

### 3. 雇用情勢

【グラフ15】

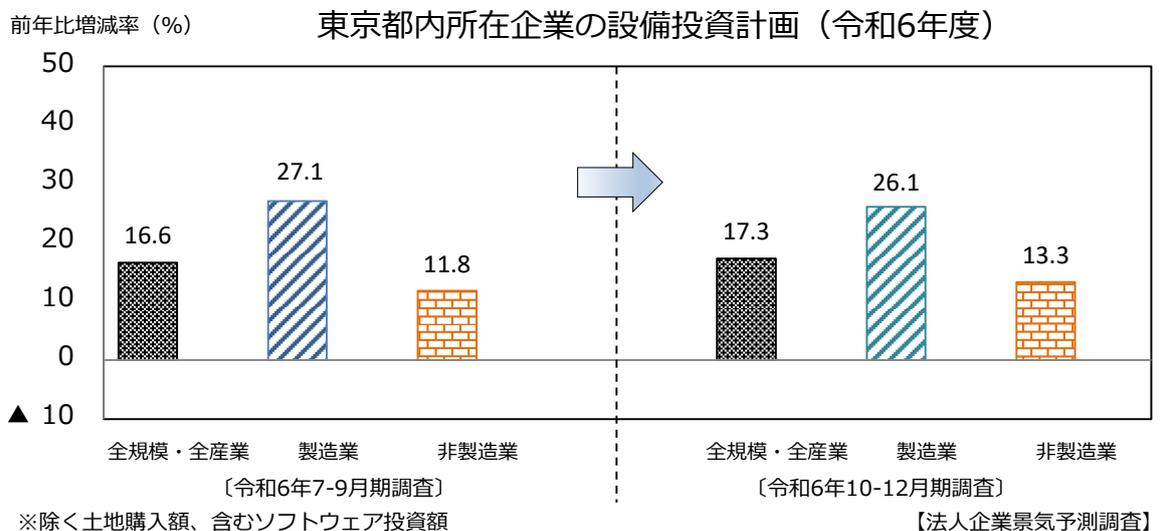


【グラフ16】



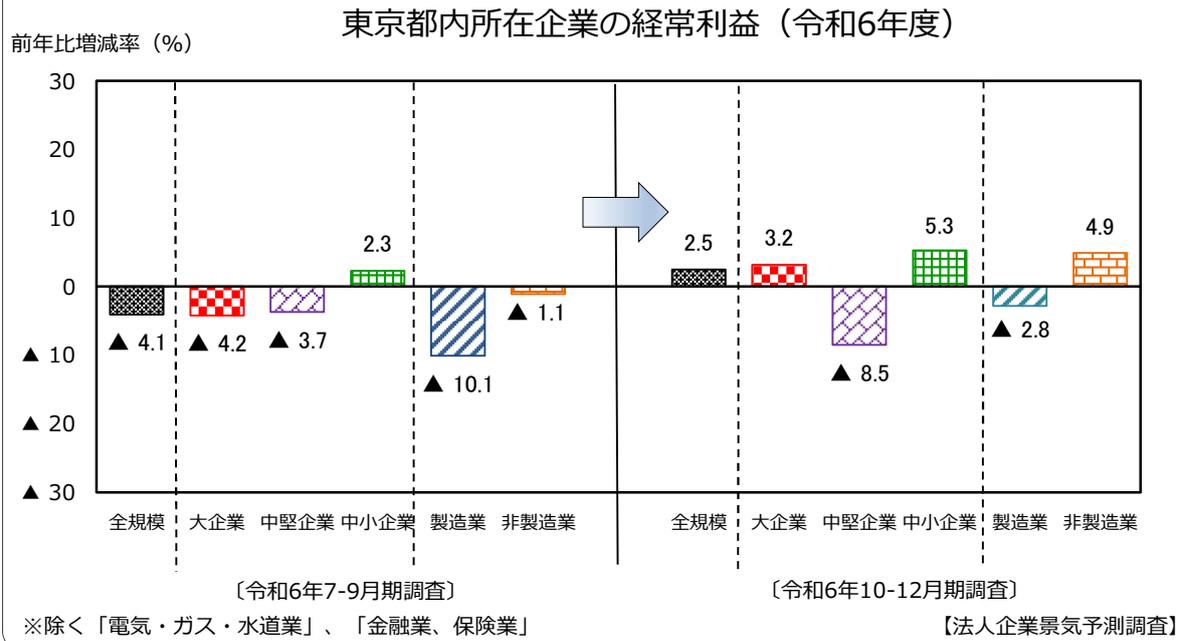
### 4. 設備投資

【グラフ17】



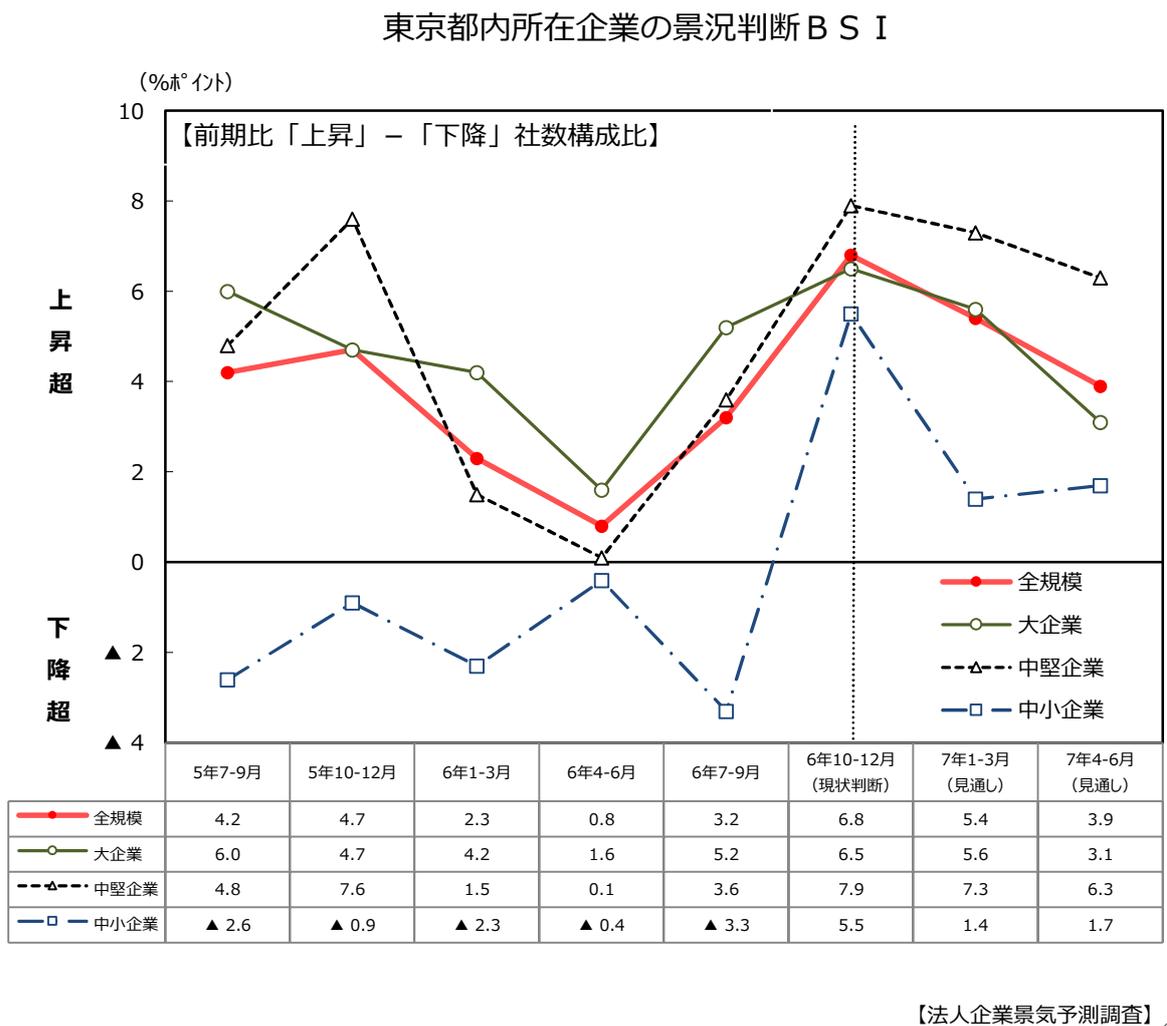
## 5. 企業収益

【グラフ18】



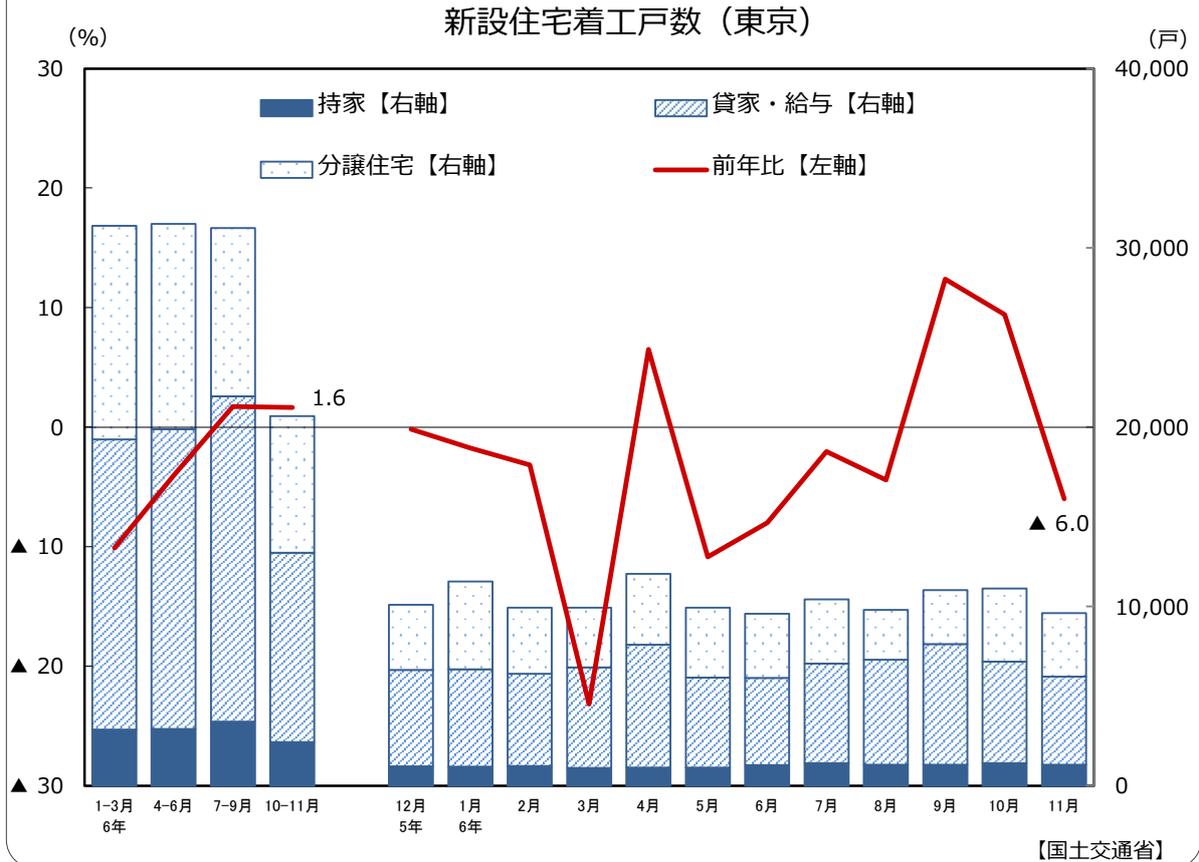
## 6. 景況感

【グラフ19】



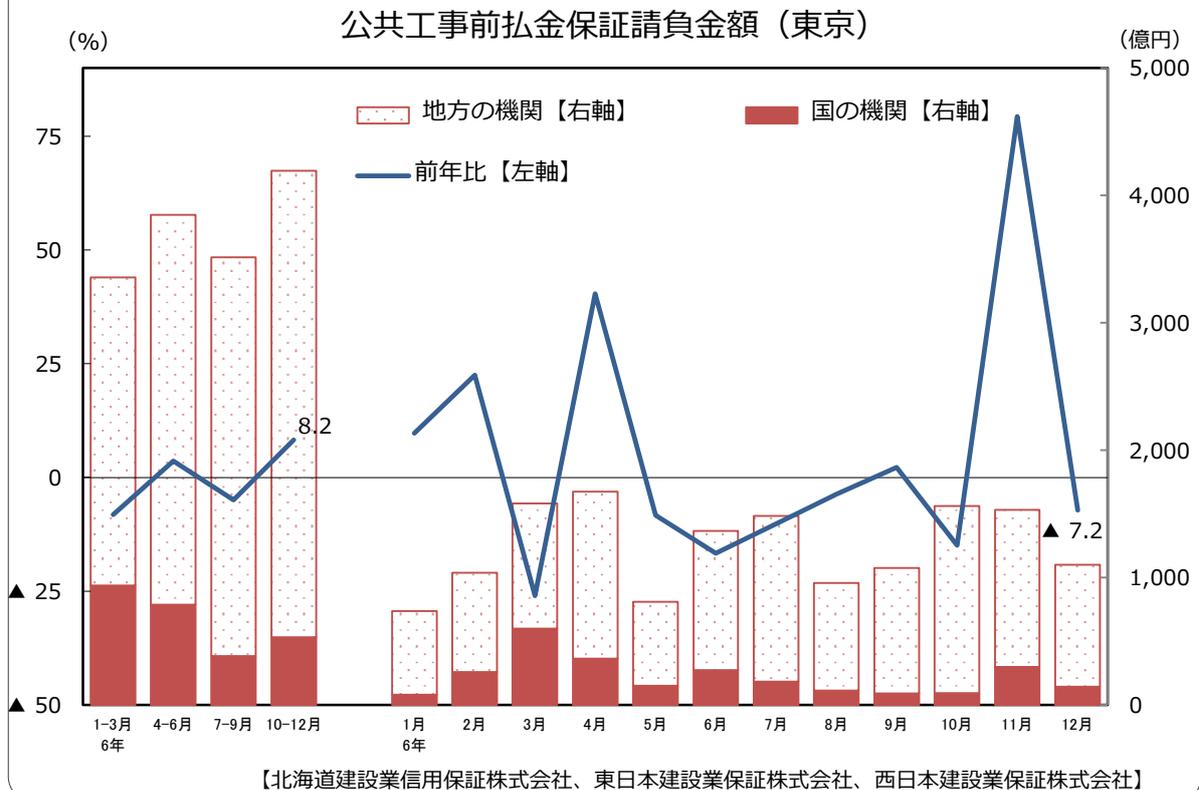
## 7. 住宅建設

【グラフ20】



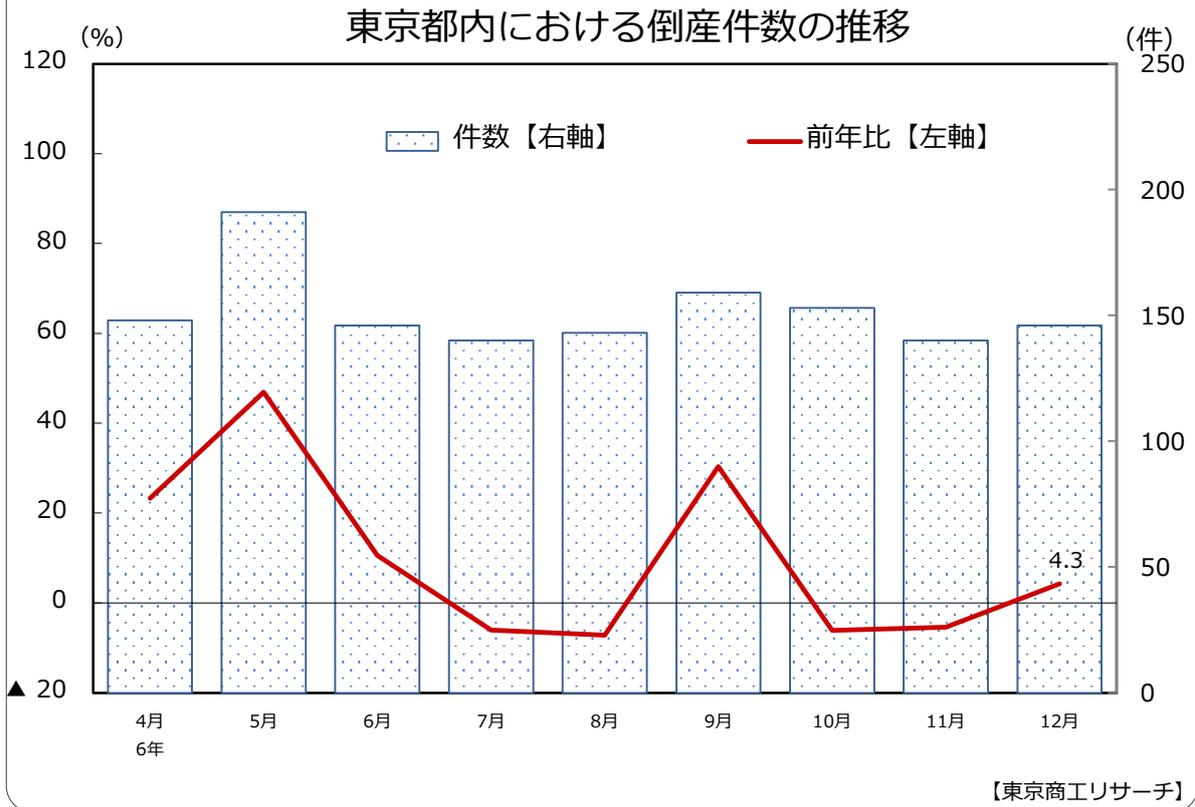
## 8. 公共事業

【グラフ21】



## 9. 企業倒産

【グラフ22】



【グラフ23】

